横越ライオンズクラブ10周年
町にダッグアウトなどを寄贈

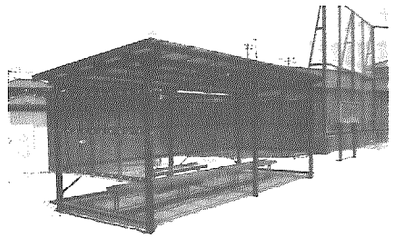
6月1日、横越勤労者体育センター（二本木）において、横越ライオンズクラブ結成10周年記念式典が開催され、クラブの会員など約170名が出席しました。

同クラブの石井久以知会長から「皆さまのおかげで地域社会に貢献できたと思っており、感謝いたします。クラブ員一同、一生懸命がんばりますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願いします」と、結成10周年を迎えてあいさつがありました。

来賓として浅見町長から「友愛と奉仕の理念により活動を続け、毎年町に寄付などを行って頂き、大変感謝しております。まますますの発展を祈念します」と祝いの言葉が寄せられました。

クラブでは、記念として旧役場庁舎の絵が入った大皿（役場1階ロビーに展示）、図書券（横越中学校へ）、野球場ダッグアウト一式（横越小学校グラウンドに設置）を寄贈しました。

ライオンズクラブは世界中で活動を展開。横越ライオンズクラブは平成5年に結成され、『全員参加の誠の奉仕』をスローガンに、カーブミラー清掃、交通安全指導、老人世帯へのプレゼント、献血運動などの活動を行っています。現在、横越地区の会員数は33名。


小学校に設置されたダッグアウト

横越町都市計画マスタープラン
各地区で住民説明会

6月5日から13日まで、町内6会場で横越町都市計画マスタープランの住民説明会が開催されました。

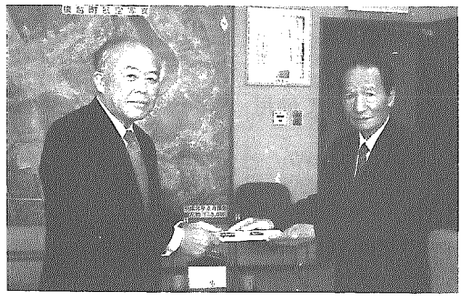
町では、横越町が目指すべき将来像を実現するために、まちづくりの基本方針を明らかにすることを目的に、昨年末に行ったアンケートの結果を反映させた横越町都市計画マスタープラン（都市計画基本方針）の素案を作成しました。今回の住民説明会は、この素案について、住民の皆さんからご意見を伺うためのものです。

6会場合わせて111名の方々が出席し、「バス路線や新駅設置の見通しはどうか」や「雨水対策を万全に」等多くの意見が出されました。

説明会での意見をふまえ、素案に修正を加え、今年8月頃に策定することにしています。

6会場で開催された住民説明会（木津会場）

横越が生んだ偉人 小林存先生の
貴重な関係資料を寄贈


目録を手渡す小柳民四郎さん（右）

6月4日、小柳民四郎さん（新潟市中山）が役場を訪問し、小林存先生に関する貴重な資料を町に寄贈しました。

町長から「大変感謝いたします。長年にわたり収集されてきた資料を、後世に伝えていきます」とお礼を述べました。

その後、寄贈された掛け軸を眺めながら、先生の生前のエピソード、語っていた言葉などを懐かしそうに語り合いました。

今回寄贈された資料は、直筆の掛け軸8巻、書物30冊、先生を取材したビデオテープ1巻。いずれも、書店や知人を通して収集されたものです。

◆小林存氏とは

明治10年横越村生まれ、昭和36年没。

明治29年東京専門学校（早稲田大学の前身）卒業後、ジャーナリストとして幅広い文筆活動を行う一方、郷土研究誌「高志路」の創刊をはじめ、「横越村誌」、「中魚沼の物語」等多くの郷土誌を刊行。民俗学の研究と大きな業績に昭和25年、新潟日報文化賞受賞、昭和27年に日本民俗学会名誉会員となりました。句や歌に親しみ、現在も人々から敬愛されています。

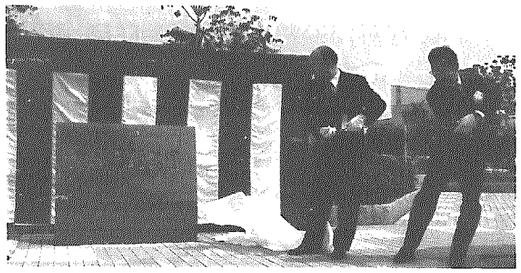
町民から愛される公園を願う
いぶき野公園 完成

6月6日、いぶき野公園の竣工式が、横越東土地区画整理組合の関係者など20名が出席して行われました。

いぶき野公園は、総合体育館駐車場に隣接し、いぶき野地区のシンボル、町民の憩いの場となるよう、横越東土地区画整理組合により約2,600万円をかけて整備が進められてきました。今年4月から2か月間の工事を終え、このたび同組合から町へ譲与されました。

広さ2,676平方メートルの園内には、ミニバスケットボールの練習用コートや滑り台などの遊具、東屋、トイレなどが設置されているほか、樹木や芝生が植えられています。

はじめに同組合の神田勝郎理事長から「町をはじめ多くの方々によるご指導のおかげで完成し、御礼申し上げます。町民の皆さまから愛される公園、お子さんからお年寄りまでがくつろぎ、親しめる公園となることを願っています」とあいさつがあった後、浅見町長と神田理事長により、同公園の完成を記念し、公園入り口に設けられた園銘碑の除幕を行いました。続いて、きれいに整備された園内を見学し、出席者たちは憩いの場として期待を寄せていました。


園銘碑の除幕を行い、公園の完成を祝う

広域情報ネットワーク

＜白根市＞

観光果樹園　いずれの施設も駐車場完備です。

●白根グレープガーデン
開園期間…8月1日～11月上旬（ブドウ、梨）
12月下旬～6月下旬（イチゴ）
☎362－5535　白根市大字鷲ノ木新田573

●池田観光果樹園（ブドウ、梨）
開園期間…8月1日～11月上旬
☎374－2305　白根市大字新飯田2584

●新飯田観光果樹園（ブドウ、梨）
開園期間…8月上旬～10月下旬
☎374－2859　白根市大字新飯田

●白根大郷中村観光果樹園（梨、ブドウ、ル レクチェ）
開園期間…8月20日～12月30日
☎362－5706　白根市大字大郷2644

●フルーツ童夢やまだ（桃、梨、ブドウ）
開園期間…8月1日～11月上旬
☎375－4708　白根市茨曽根151

●白根観光きのこ園（ナメコ、シメジ、シイタケ）
開園期間…10月上旬～3月中旬
☎362－7015　白根市上塩俵土居下1493

◆問い合わせ　白根市商工観光課　☎373－2111

＜新潟都市圏総合整備推進協議会・新潟地域広域市町村圏協議会＞

夏休み！　にいがた探検マップ

圏域内の小中学生を対象に、近隣市町村の施設を知って利用してもらおうと、圏域内の施設（44か所）を紹介した手帳「夏休み！にいがた探検マップ」を作成し、学校を通して子どもたちに配布します。

この手帳を利用できる期間は、今年の夏休み期間中のみで、手帳には施設利用割引券が付いています。

この夏休み期間中に、探検マップを持って、いろいろなまちを探検してみましょう。

◆問い合わせ　役場総務課　☎385－2111

にいがた・骨髄バンクを育てる会
56kmを歩きながら骨髄バンクへの協力を呼びかける

6月6日、にいがた・骨髄バンクを育てる会の関係者20名が役場に立ち寄り、骨髄バンクへの協力を呼びかけました。

「白血病などの血液難病は原因不明で、いつ、誰が発症するか分からない病気です。骨髄移植は有効な治療法の一つ。ドナー登録を増やすため、骨髄バンク事業に一層ご協力をお願いします」と、育てる会の井上健一さんの呼びかけに、出迎えた渡辺助役は「大変ご苦労さまです。皆さんの趣旨を尊重し、できる限り協力していきたい」と激励の言葉を送りました。

町へ協力を呼びかける井上健一さん

今回は、移植体験者、患者、ボランティアなどが参加し、6月5日に聖籠町役場を出発。笹神村や当町などを回って新潟市役所をゴールとする56キロメートルを二日かけて歩きながら、バンクへの協力と登録を呼びかけました。

ドナー登録には全国で30万人が必要とされている中、現在、登録者数は全国で17万人弱（県内4,800人）。骨髄バンクを育てる会では、全国30万人の登録を目指して活動を続けています。

◆問い合わせ　にいがた・骨髄バンクを育てる会
☎233－5963